

■ 道徳授業案

平成25年11月1日(金) 9:20~10:10
学校名 北海道教育大学附属釧路中学校
生徒 3年C組 男子19名 女子18名 計37名
指導者 教諭 齊藤 貴文

1. 主題名 『 世界の中の日本人 』 内容項目4ー(10)

資料名 「 郷に入っては… 」 (文部省 指導資料I)

2. 主題の目標

○世界の中の日本人としての自覚を持ち、他国と自国の伝統と文化のそれぞれ違いやよさに気づき、それぞれの国における文化やよさを尊重する心情を育てる。

(基本目標 ③自国認識・国民的自覚 ④他国・異文化理解)

【 ESD 多様な価値観を認め、尊重する力 】

○資料を通して、地球的な視野をもって自己のありかたを振り返り、真の国際人としての誇りや異文化を理解する心情を育てる。

3. 主題について

(1) 主題設定の理由

世界的なグローバルゼーションのうねりは確実に現在の私たちの生活環境・様式を大きく変えてきている。インターネットを通じたメールを始め、ツイッターやフェイスブックといったようなSNSの広がり、**「画面の中」**において世界を身近に感じさせるとともに、世界的な文化の変化を助長している。

このような社会において、日本では自国のみならず、世界各国に視野を広げて、世界的な発展に寄与することができる人材、国際社会をリードする人材の育成が強く求められている。それは、知識としての学力だけでなく、**「自立」「協働」「創造」**の社会の実現に向けて、グローバルに活躍する人材、イノベーションを実現する人材の養成・確保を図ることであり、今後一層、地球的な視野、未来的な視野に立つて活躍できる人材を示している。このような視野に立つためには、自国だけではなく世界的な文化を知識としての理解にとどまらず、内面的な理解をもしていくことが大切だと考える。

しかし、情報化に伴って世界観が広がっている子どもたちは実際に文化というものをどの程度認識しているだろうか。

日本を例にとっても、アニメや歌舞伎、寿司のような**「見える文化」**と礼儀作法やおもてなし、察するといったような**「見えない文化」**がある。**「画面の中」**という狭い範囲における閉塞的なコミュニケーションにおいては、言葉として文化を認識することは可能かも知れないが、実感の伴った文化への理解や**「見えない文化」**を尊重することが難しい現状にあるのではないだろうか。

国際社会に生き、地球社会の一員として世界に羽ばたく子どもたちには、「見える文化」にとどまらず、「見えない文化」への深い理解が必要である。そして、そのことが多文化共生の時代において国際人として不可欠な要素であり、それは「画面の中」だけでは決して育むことができないと感じている。

本時では、資料を通して、「文化」というものの認識を改めて確認するとともに、日本と世界の文化について考える中で、文化を尊重することの意味やそれぞれの国において大切にしたい文化があること、そして、これから未来に活躍することが期待される真の国際人としての自己のあり方を考えさせていきたい。

(2) 題材の価値 視点①

資料「郷に入っては…」はオーストラリアに旅行に行った主人公が、その国の住人である女性から振舞いについて指摘されたことから、自国の文化との違いに気づき、本当の意味で文化を理解することや、世界の中の日本人としてのあり方、考え方を深めていく物語である。資料を通して、世界には様々な価値観があることや、価値観の広がりや自己にどのような結果をもたらすのかということに気づかせ、自己のこれまでの振る舞いや考え方を振り返り、地球的な視野に立って、世界の中の日本人としての今後の生き方を考えていくことを期待している。

(3) 指導にあたって 視点②

上記のことから、生徒が地球的な視野を持ち、国際的視野に立って世界の中の日本人としての自覚を深めるために「郷に入っては…」という資料をもとに「世界の中の日本人」という主題名で授業を設定した。

研究の視点である「地球的な視野をもち、ともに問題解決していく学習活動の構築」の1つとして生徒たちが考えを交流させる場面を設定する。

自己の考えを交流させる場面を設定することで、自分の考えだけではなく、相手の考えを聴き、対話を通して自己の価値観を再認識し、視野を広げ、生徒が自ら主体的に働きかけ、価値を自覚することができる考えた。

4. 指導計画 本校における国際理解に関わる部分

学年	道徳	他教科との関連
1	「トライアゲイン」 4-(10) 「私の万年筆」 4-(9)	※5. 教材・活動カレンダーを参照
2	「国」 4-(9)	
3	「郷に入っては…」 4-(10) 「伝統と文化」 4-(9)	

5. 教材・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
道徳	世界の中の日本人 4-(10)													
教科	社会	○二度の世界大戦と日本 4-(10)				○人権を尊重する日本国憲法 4-(10)				○国際社会に生きるわたしたち 4-(10)				
	理科	○エネルギーの移り変わり 4-(10)				○イオン 4-(10)				○自然環境 4-(10)		○エネルギー資源利用 4-(10)		○科学技術の進歩 4-(10)
	音楽	○アランフェス協奏曲 4-(10)				○「アイーダ」から第2幕第2場 4-(10)								
	英語	Program 9 Mother Teresa 4-(10)												

6. 本時の目標

(1) 道徳の目標

○世界の中の日本人としての自覚を持ち、他国と自国の伝統と文化のそれぞれ違いやよさに気づき、それぞれの国における文化やよさを尊重する心情を育てる。

(2) 国際理解教育の目標

○資料を通して、地球的な視野をもって自己のありかたを振り返り、真の国際人としての誇りや異文化を理解する心情を育てる。

7. 本時の展開 50分 _____中心発問 ○発問 △補助発問 []予想される生徒の反応 □指示

学習活動・内容	教師の関わりと支援	指導上の留意点
<p>1. 事例をもとに日本の文化の意識を交流する。</p> <p>・文化といえば アニメ・漫画・歌舞伎・祭り・食べ物</p> <p>・振る舞いや内面における文化 礼儀正しい・ルールを守る・誠実・謙虚</p> <p>・他国の振る舞いや内面に関わる レディー・ファースト・土足で家に入る</p> <p>2. 資料「郷に入っては…」を読んで資料の内容を押さえ、資料の中の日本人男性が自分ならどうという行動をとるか考える。</p> <p>(従う)</p> <p>・現地の考え方に賛同できるから</p> <p>・とりあえず従うその場を収めるために</p> <p>・注意してくれたから</p> <p>・現地に合わせる事が大切だと思うから</p> <p>(従わない)</p> <p>・自分は自分だから いつもやらないし</p> <p>・自分の文化・価値観を大切にしたいから</p> <p>3. 他国における文化を通して、自分たちの振る舞いを考え、発表する。</p> <p>・その国の文化に従う</p> <p>・その国の文化に従えない</p> <p>・自分が大切だと思うから</p> <p>4. さまざまな文化を持つ人たちと今後つきあっていく中で、心がけなければならないことを考え、発表する。</p> <p>・他国の文化を理解することが大切</p> <p>・自分にとっての価値を考えること</p> <p>・互いに相手を思いやる言動</p> <p>・取捨選択すること</p> <p>5. 説話を聞く。</p>	<p>1. アンケートをもとに日本における文化の意識を交流させる。</p> <p>(みんなが書いた文化) アニメ・漫画・歌舞伎・祭り・食べ物</p> <p>・振る舞いや内面に関わるような 礼儀正しい・ルールを守る・誠実・謙虚・親切</p> <p>○他国で知っている振る舞いや内面に関わる文化はなんだろう。</p> <p>2. 資料「郷に入っては…」を読んで、他国には自国と違う文化が存在することに気づき、文化の違いに対する自分自身の振る舞いについて考えさせる。</p> <p><u>あなたがもし、この日本人男性の立場なら、老婦人の言葉に対して、どのような行動をとりますか。</u></p> <p>△自分は老婦人の言葉に従いますか</p> <p>△そのような行動をする理由はなんですか</p> <p>△どうすべきだと思いますか</p> <p>3. 他国における文化を通して、自分たちの振る舞いを考えさせる。</p> <p>○自分たちの文化とは違う文化に出会ったときにどんな行動をとりますか</p> <p>△そのように行動する理由は</p> <p>4. さまざまな文化を持つ人たちと今後つきあっていく中で、心がけなければならないことを考えさせる。</p> <p>○さまざまな文化を持つ人達と今後付き合っていくときに心がけなければならないことは何だろう。</p> <p>△文化を学ぶことはなぜ必要なんだろう</p> <p>△価値観を広げることはなぜ大切な</p> <p>5. 説話をする。</p>	<p>日本(人)のよさ・らしさのアンケートの交流を通して、文化というものを押さえる。</p> <p>○世界の中の日本人としての行動のあり方について考えようとしていたか</p> <p>○今後の自分の行動のあり方について考えようとしていたか</p>